

**授業概要**

歴史をみる筋道と視角、史料の信憑性や性格についての批判的精神を、実際に史料を読むことによって習得する。「インド独立の父」として知られる M.K.ガンディーの著作の中から、日本語に翻訳されているものを読み、史料の読み方、解釈の仕方を具体的に学ぶ。ガンディーの生きた時代背景、思想から現代世界へのメッセージを、議論し、読み解いていく。

**授業計画**

第1回	はじめに
第2回	史料の歴史的背景
第3回	序、第1章
第4回	第2章、第3章
第5回	第4章、第5章
第6回	第6章、第7章
第7回	第8章、第9章
第8回	第10章、第11章
第9回	第12章、第13章
第10回	第14章、第15章
第11回	第16章、第17章
第12回	第18章
第13回	第19章
第14回	第20章
第15回	総まとめ
第16回	筆記試験

**到達目標**

史料の行間を読むことを学ぶ。歴史的背景、著者の思想などを総合的に判断して、史料の内容を分析することを習得する。

**履修上の注意**

各自が学んだことを発表する機会を設け、発表の方法、レジュメの作成などの指導も行う。毎週、ミニレポートを提出。

**予習・復習**

授業計画に従って、必ず史料を読み、要約したうえで授業に参加すること。授業後は、レジュメ、参考文献を読み理解を深めておくこと。

**評価方法**

授業への参加の態度、授業前に提出する要約レポート、授業での報告が70%、学期末の筆記試験30%として総合的に評価する。

**テキスト**

M.K.Gandhi, "Hind Swaraj" 『ヒンド・スワラージ（真の独立への道）』  
当方で用意する。参考文献は適宜紹介する。